

作物統計調査 令和8年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量 (関東農政局管内)

令和8年産主食用米の予想収穫量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は前年に比べ3千トン増加の見込み。

【調査結果の概要】

- 管内の令和8年産の水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mmベースの予想収穫量（主食用）※¹は144万3,000 tで、前年産に比べ3,000 t増加と見込まれる。

※1 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mmベースのふるい上米

これは、

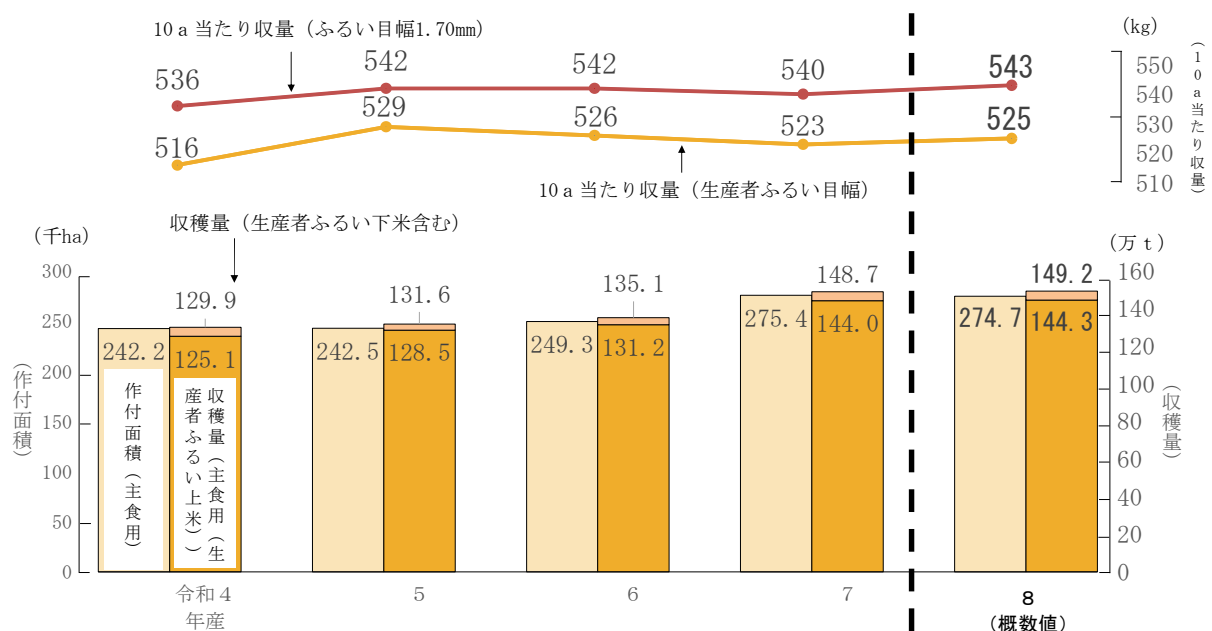
- ① 作付面積（主食用）が、米粉用、備蓄米等への転換等があったため、27万4,700haで、前年産に比べ700ha減少と見込まれる一方、
- ② 9月25日現在における10 a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、一部の地域において、豪雨災害や日照不足等の影響はあるものの、田植期以降、多照で推移したことから、525kgで、前年産に比べ2 kg増加と見込まれるためである。

- 2 管内の作況単収指数は100と見込まれる。

- 3 管内の令和8年産の水稻の9月25日現在における10 a 当たり予想収量（ふるい目幅1.70mmベース）は543kgで、前年産に比べ3 kg増加と見込まれ、ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）※²は149万2,000 tで、前年産に比べ5,000 t増加と見込まれる。

※2 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mmベースのふるい下米を含む。

図1 水稻の作付面積（主食用）、10 a 当たり収量及び収穫量の推移（関東農政局管内）



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（10ページの【参考1】参照）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和8年産は予想）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である（令和8年産は予想）。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。また、豪雨災害や日照不足等の影響などで昨年より刈取り調査が遅れている県があり、災害等の詳細な影響については次回の公表に反映する。

◎累年データ

水稻の年次別推移

1 関東農政局管内

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
	主食用		10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい上 米))	10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	320,500	275,700	529	103	1,460,000	541	103	1,490,000	100
29	318,000	273,000	517	98	1,411,000	532	98	1,453,000	98
30	316,300	275,000	523	101	1,436,000	537	101	1,477,000	100
令和元	314,600	273,900	510	98	1,398,000	521	97	1,429,000	97
2	312,800	271,200	520	102	1,409,000	532	102	1,444,000	101
3	311,100	255,200	523	101	1,335,000	543	102	1,386,000	101
4	308,100	242,200	516	99	1,251,000	536	99	1,299,000	99
5	306,000	242,500	529	103	1,285,000	542	101	1,316,000	102
6	300,900	249,300	526	99	1,312,000	542	100	1,351,000	101
7	300,000	275,400	523	99	1,440,000	540	100	1,487,000	100
8 (概数値)	298,200	274,700	525	100	1,443,000	543	101	1,492,000	100

- 作況単収指数は、10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。また、平成28年産から令和元年産までの作況単収指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

水稻の年次別推移（続き）

2 茨城県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	77,800	67,200	509	103	342,000	521	103	350,100	98
29	77,200	66,400	510	100	338,600	525	101	348,600	98
30	77,000	66,800	508	100	339,300	524	100	350,000	99
令和元	76,600	66,400	493	97	327,400	504	96	334,700	96
2	76,200	65,500	519	105	339,900	531	105	347,800	105
3	75,800	61,400	521	100	319,900	543	102	333,400	105
4	75,000	58,300	509	98	296,700	532	98	310,200	101
5	74,300	57,800	513	101	296,500	530	100	306,300	101
6	73,500	59,900	523	102	313,300	542	102	324,700	102
7	73,500	66,700	508	97	338,800	529	98	352,800	98
8 (概数値)	73,300	67,400	515	101	347,100	536	101	361,300	100

3 栃木県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	69,500	53,600	541	104	290,000	551	104	295,300	101
29	69,400	53,600	492	91	263,700	510	93	273,400	94
30	69,300	54,700	537	109	293,700	550	108	300,900	102
令和元	69,200	54,900	514	96	282,200	526	96	288,800	97
2	69,100	54,900	520	101	285,500	538	102	295,400	102
3	69,100	50,600	520	100	263,100	549	102	277,800	101
4	68,600	46,100	497	96	229,100	532	97	245,300	97
5	68,600	47,200	537	108	253,500	553	104	261,000	104
6	66,900	49,000	521	97	255,300	540	98	264,600	101
7	67,000	58,100	521	100	302,700	545	101	316,600	100
8 (概数値)	66,400	58,000	523	100	303,300	551	101	319,600	100

4 群馬県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	17,900	14,100	489	104	68,900	505	103	71,200	100
29	17,600	13,900	483	99	67,100	499	99	69,400	99
30	17,300	13,700	489	101	67,000	506	101	69,300	101
令和元	17,100	13,600	470	96	63,900	486	96	66,100	97
2	17,000	13,600	481	102	65,400	496	102	67,500	100
3	16,700	13,000	476	99	61,900	492	99	64,000	98
4	16,500	12,400	486	102	60,300	502	102	62,200	101
5	16,200	12,400	494	102	61,300	504	100	62,500	103
6	16,000	12,800	483	98	61,800	499	99	63,900	100
7	15,800	14,700	488	101	71,700	504	101	74,100	101
8 (概数値)	15,500	13,900	487	100	67,700	506	100	70,300	100

水稲の年次別推移（続き）

5 埼玉県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	34,700	31,200	481	104	150,100	494	103	154,100	102
29	34,000	30,700	478	99	146,700	494	100	151,700	101
30	33,600	30,800	471	99	145,100	487	99	150,000	99
令和元	33,400	30,900	468	99	144,600	482	99	148,900	98
2	33,200	30,600	487	104	149,000	496	103	151,800	103
3	33,000	28,800	489	100	140,800	508	102	146,300	103
4	32,500	27,400	484	99	132,600	498	98	136,500	101
5	32,200	27,500	472	98	129,800	484	97	133,100	98
6	31,800	28,400	463	98	131,500	476	98	135,200	96
7	31,900	30,600	464	100	142,000	473	99	144,700	96
8（概数値）	31,600	29,600	492	106	145,600	507	107	150,100	104

6 千葉県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	61,600	53,900	538	102	290,000	549	102	295,900	100
29	61,300	53,300	529	98	282,000	543	99	289,400	98
30	61,000	53,900	525	99	283,000	542	100	292,100	99
令和元	60,800	53,700	508	97	272,800	516	95	277,100	95
2	60,200	52,500	528	104	277,200	537	104	281,900	100
3	59,800	48,100	539	102	259,300	549	102	264,100	102
4	59,600	45,500	535	99	243,400	544	99	247,500	102
5	59,200	45,800	550	103	251,900	557	102	255,100	104
6	58,600	48,300	559	102	270,000	569	102	274,800	105
7	57,800	53,100	546	98	289,900	557	98	295,800	101
8（概数値）	57,200	53,500	534	98	285,700	541	97	289,400	98

7 東京都

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	151	151	406	104	613	415	102	627	100
29	141	141	400	99	564	411	99	580	99
30	133	133	410	103	545	417	101	555	101
令和元	129	129	390	95	503	402	96	519	97
2	124	124	394	101	489	400	100	496	99
3	120	120	394	100	473	405	101	486	99
4	115	115	412	105	474	421	104	484	104
5	111	111	414	100	460	419	100	465	104
6	107	107	405	98	433	414	99	443	101
7	112	112	408	101	457	418	101	468	101
8（概数値）	111	111	412	101	457	421	101	467	101

水稻の年次別推移（続き）

8 神奈川県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	3,130	3,110	484	106	15,100	495	102	15,400	100
29	3,110	3,090	488	101	15,100	509	103	15,700	103
30	3,090	3,080	470	96	14,500	492	97	15,200	99
令和元	3,050	3,040	454	97	13,800	470	96	14,300	95
2	3,000	2,990	464	102	13,900	474	101	14,200	99
3	2,930	2,920	470	101	13,700	492	104	14,400	99
4	2,890	2,880	481	102	13,900	501	102	14,400	103
5	2,870	2,850	486	101	13,900	499	100	14,200	104
6	2,850	2,840	463	95	13,100	481	96	13,700	98
7	2,850	2,840	482	104	13,700	501	104	14,200	102
8（概数値）	2,790	2,780	476	99	13,200	496	99	13,800	100

9 山梨県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	5,020	4,940	537	103	26,500	547	101	27,000	100
29	4,980	4,880	531	99	25,900	549	100	26,800	101
30	4,930	4,820	526	99	25,400	542	99	26,100	99
令和元	4,910	4,810	526	100	25,300	541	100	26,000	99
2	4,910	4,800	516	98	24,800	529	98	25,400	98
3	4,880	4,760	516	100	24,600	532	101	25,300	98
4	4,820	4,690	518	100	24,300	532	100	25,000	99
5	4,790	4,660	533	103	24,800	542	102	25,300	103
6	4,720	4,590	518	97	23,800	534	99	24,500	101
7	4,670	4,560	511	99	23,300	528	99	24,100	100
8（概数値）	4,670	4,580	517	101	23,700	541	102	24,800	101

10 長野県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	33,300	31,700	615	104	195,000	624	103	197,800	103
29	32,900	31,300	616	100	192,800	629	101	196,900	103
30	32,700	31,300	607	99	190,000	618	98	193,400	100
令和元	32,400	30,900	609	100	188,200	620	100	191,600	101
2	32,200	30,700	590	97	181,100	606	98	186,000	98
3	32,000	30,400	579	98	176,000	603	100	183,300	96
4	31,600	29,800	589	102	175,500	608	101	181,200	99
5	31,300	29,300	601	102	176,100	614	101	179,900	101
6	30,900	29,000	604	100	175,200	620	101	179,800	102
7	31,000	30,000	612	101	183,600	626	101	187,800	103
8（概数値）	31,300	30,200	600	98	181,200	617	99	186,300	100

水稻の年次別推移（続き）

11 静岡県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい上 米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい下 米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	17,400	15,800	519	105	82,000	525	104	83,000	101
29	17,300	15,600	506	97	78,900	515	98	80,300	99
30	17,200	15,700	496	98	77,900	506	98	79,400	98
令和元	17,100	15,600	507	102	79,100	517	102	80,700	101
2	16,800	15,400	469	93	72,200	478	92	73,600	93
3	16,700	15,200	495	106	75,200	506	106	76,900	98
4	16,600	15,000	501	101	75,200	509	101	76,400	100
5	16,500	15,000	512	102	76,800	519	102	77,900	103
6	15,600	14,400	472	92	68,000	484	93	69,700	96
7	15,400	14,700	505	107	74,200	522	108	76,700	104
8（概数値）	15,300	14,700	508	101	74,700	520	100	76,400	102

【調査結果】

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は27万4,700haで、前年産に比べ700ha減少が見込まれる。これは、主食用米から米粉用、備蓄米等への転換等があったためである。
- 2 9月25日現在における管内の10a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、525kg（前年産に比べ+2kg）と見込まれる。
これは、一部の地域において、豪雨災害や日照不足等の影響はあるものの、田植期以降、多照で推移したためである。
これを都県別にみると、以下のとおりである。
茨城県、栃木県、埼玉県、東京都、山梨県及び静岡県においては、おおむね天候に恵まれ、全もみ数等が前年並み以上に確保されたこと等から、茨城県は515kg（同+7kg）、栃木県は523kg（同+2kg）、埼玉県は492kg（同+28kg）、東京都は412kg（同+4kg）、山梨県は517kg（同+6kg）、静岡県は508kg（同+3kg）と見込まれる。
群馬県、千葉県、神奈川県及び長野県においては、6月下旬から7月中旬にかけての日照不足等から、全もみ数が前年を下回ったこと、また、千葉県においては、8月豪雨や9月の台風等による冠水等の被害があったことから、群馬県は487kg（同△1kg）、千葉県は534kg（同△12kg）、神奈川県は476kg（同△6kg）、長野県は600kg（同△12kg）と見込まれる。
- 3 主食用作付面積に10a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は144万3,000t（前年産に比べ3,000t 増加）と見込まれる。
- 4 管内の作況単収指数は100と見込まれる。
- 5 9月25日現在における管内の10a 当たり予想収量（ふるい目幅1.70mmベース）は、543kg（前年産に比べ+3kg）と見込まれ、ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は149万2,000t（前年産に比べ5,000t 増加）と見込まれる。

○ 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。

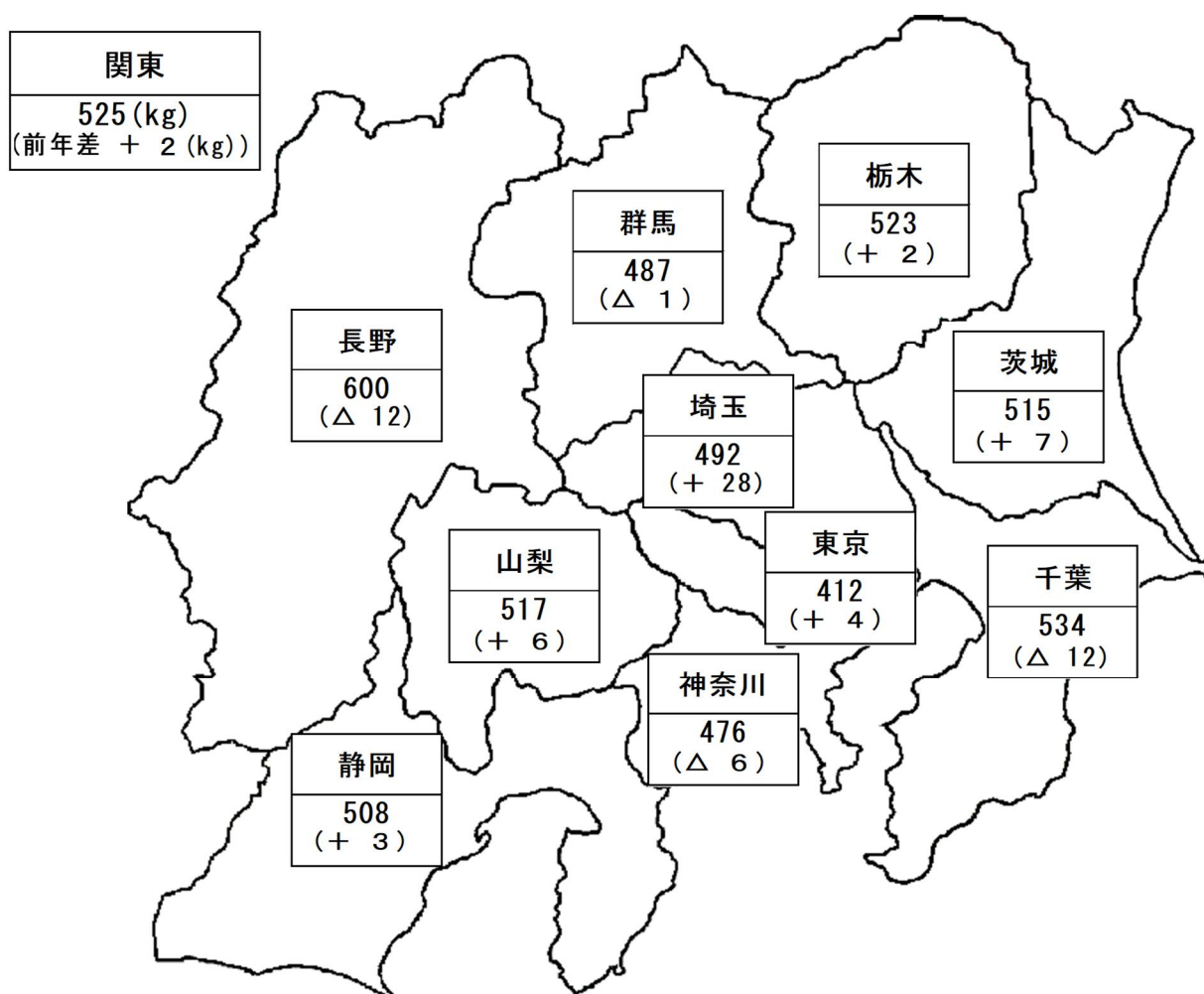
表 令和8年産水稻の作付面積（主食用）及び9月25日現在の予想収穫量
（関東農政局管内都県別）

区 分	作付面積（主食用）				生産者が使用しているふるい目幅で選別				
	実 数 ①	前年産との比較		10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））			
				実 数 ②	前年産との 比較 対 比	実 数 ③＝①×②	前年産との比較		
		対 差	対 比				対 差	対 比	
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	
管 内	274,700	△ 700	100	525	100	1,443,000	3,000	100	
茨 城	67,400	700	101	515	101	347,100	8,300	102	
栃 木	58,000	△ 100	100	523	100	303,300	600	100	
群 馬	13,900	△ 800	95	487	100	67,700	△4,000	94	
埼 玉	29,600	△1,000	97	492	106	145,600	3,600	103	
千 葉	53,500	400	101	534	98	285,700	△4,200	99	
東 京	111	△ 1	99	412	101	457	0	100	
神 奈 川	2,780	△ 60	98	476	99	13,200	△ 500	96	
山 梨	4,580	20	100	517	101	23,700	400	102	
長 野	30,200	200	101	600	98	181,200	△2,400	99	
静 岡	14,700	0	100	508	101	74,700	500	101	

区 分	ふるい目幅1.7mmで選別						作況 単収 指数
	10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい下米含む））				
	実 数 ④	前年産との 比較 対 比	実 数 ⑤＝①×④	前年産との比較			
				対 差	対 比		
	kg	%	t	t	%		
管 内	543	101	1,492,000	5,000	100	100	
茨 城	536	101	361,300	8,500	102	100	
栃 木	551	101	319,600	3,000	101	100	
群 馬	506	100	70,300	△3,800	95	100	
埼 玉	507	107	150,100	5,400	104	104	
千 葉	541	97	289,400	△6,400	98	98	
東 京	421	101	467	△ 1	100	101	
神 奈 川	496	99	13,800	△ 400	97	100	
山 梨	541	102	24,800	700	103	101	
長 野	617	99	186,300	△1,500	99	100	
静 岡	520	100	76,400	△ 300	100	102	

- 注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- なお、千葉県においては営農計画書等の変更提出期限が延長されていることから今後変動することがある。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり予想収量（②）については、都県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10 a 当たり予想収量（④）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米を含む））（⑤）については、都県ごとの積上げ値であるため、四捨五入により、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10 a 当たり収量の比率である。

図2 関東農政局管内の都県別10a当たり予想収量（9月25日現在）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

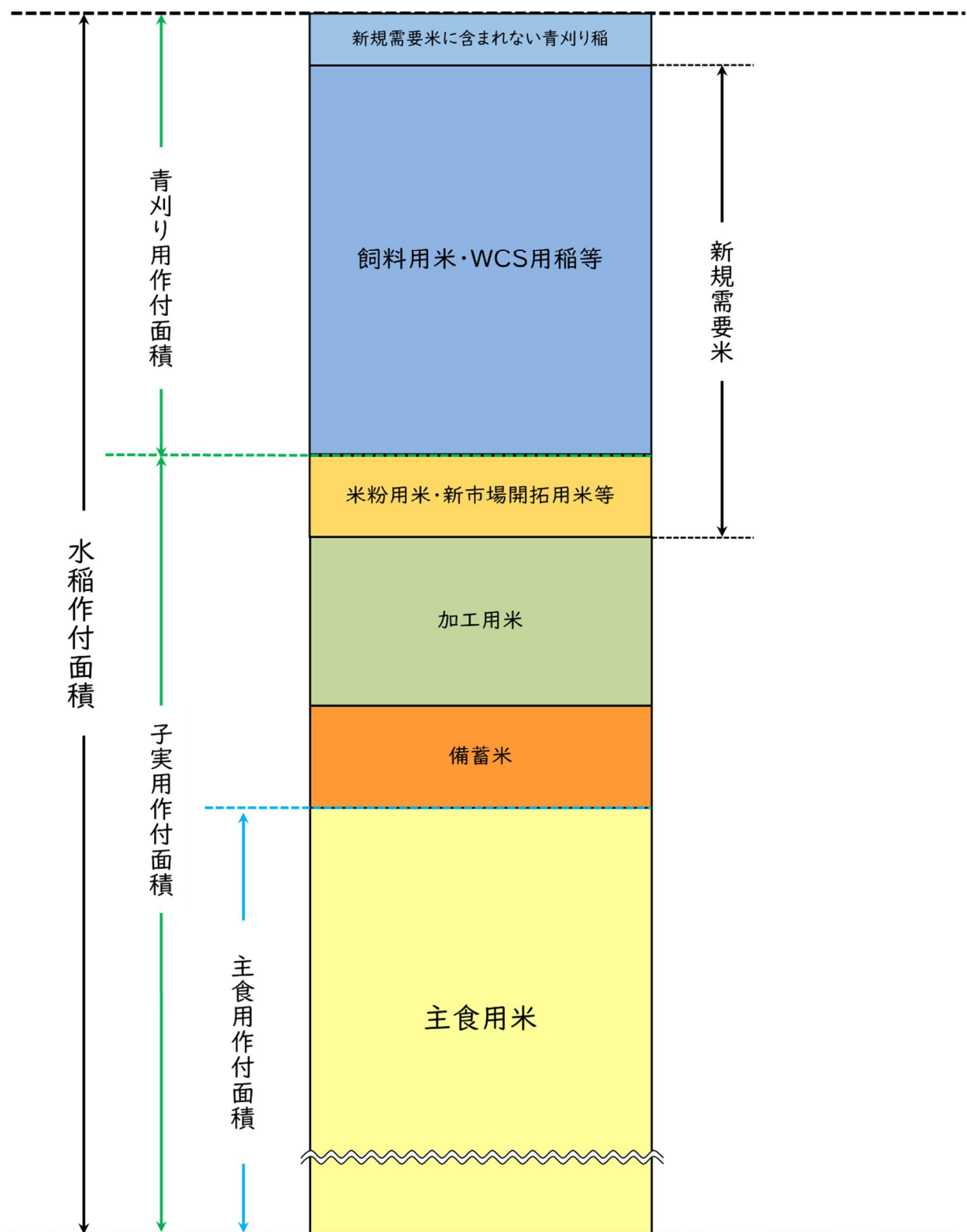


注： 生産者が使用しているふるい目幅とは、都県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上のことである。

【生産者が使用しているふるい目幅】

茨城県：1.85mm	栃木県：1.85mm	群馬県：1.80mm	埼玉県：1.80mm	千葉県：1.80mm
東京都：1.80mm	神奈川県：1.80mm	山梨県：1.85mm	長野県：1.85mm	静岡県：1.85mm

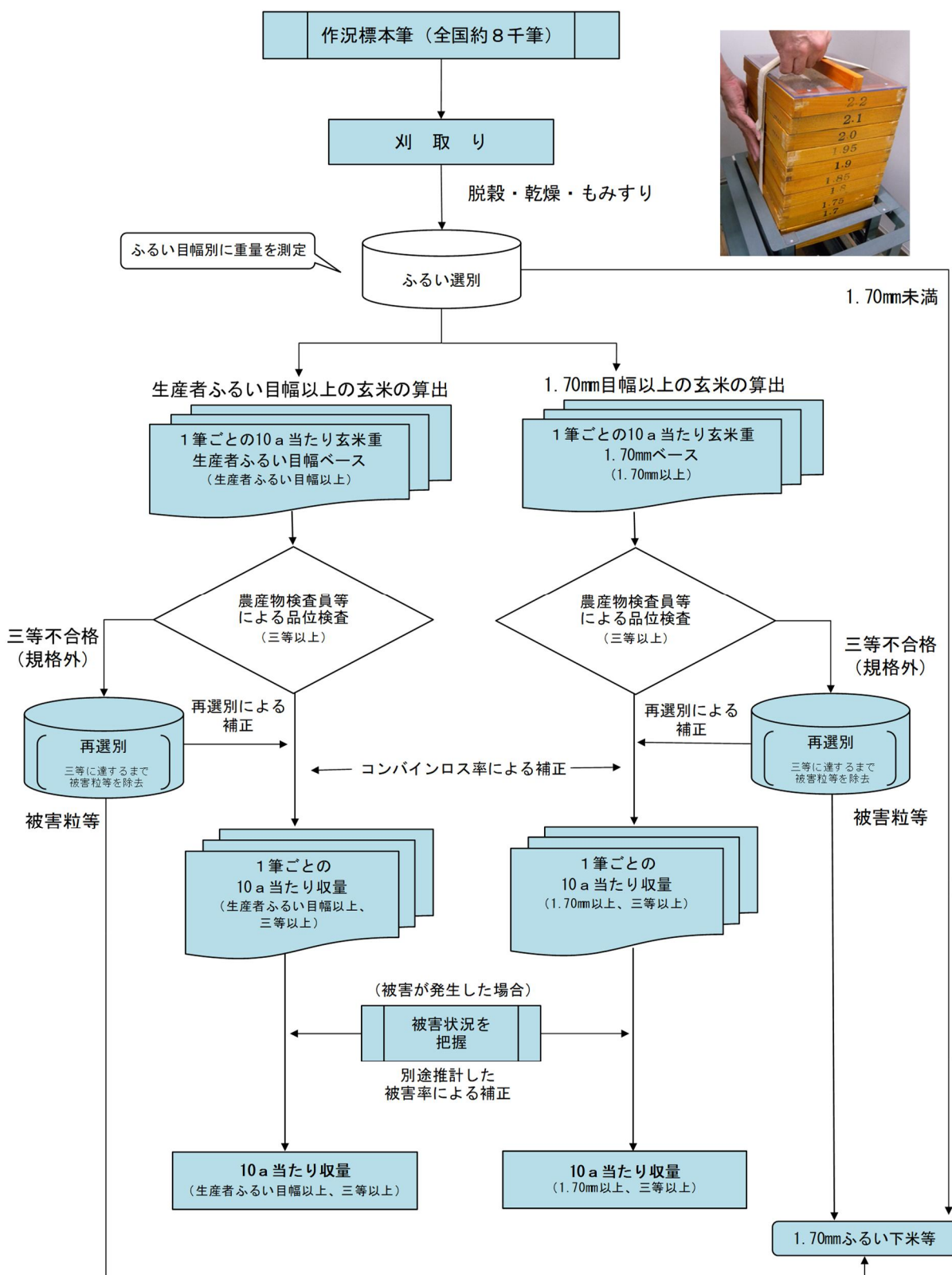
水稻作付面積の概念図



【参考2】

刈取り調査における10a当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い10a当たり収量を算出している（下図参照）。



【参考3】

作況標本^{ふで}筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約8千筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



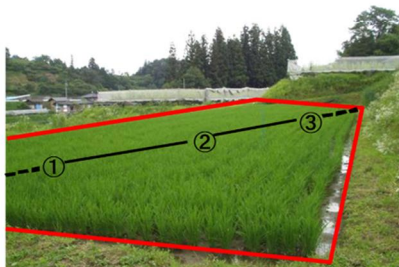
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約8千筆）

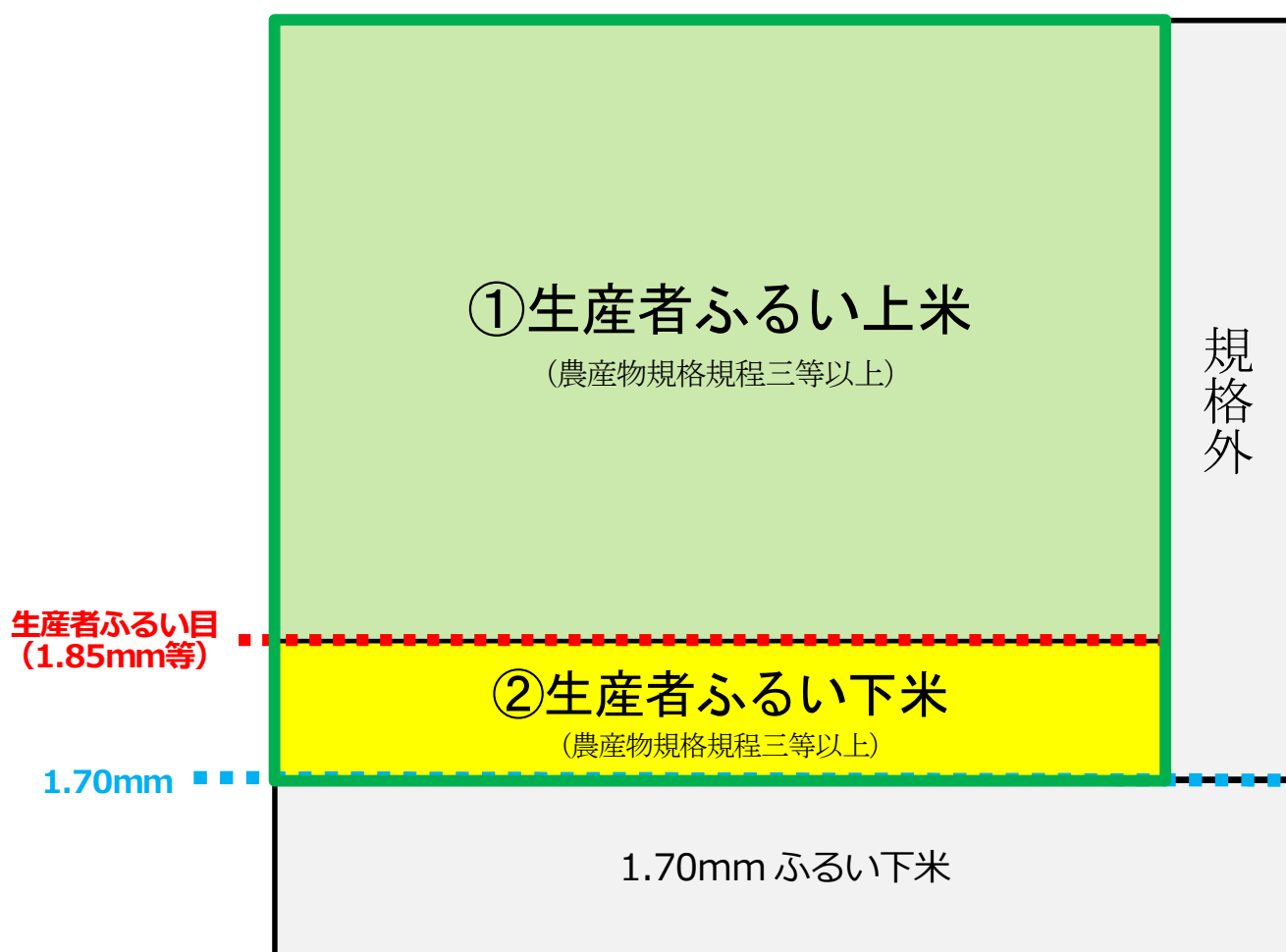


- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【参考 4】

水稻収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量（生産者ふるい上米）は、都県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.80、1.85mm）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【統計表】

https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kohyo/2026kekka.html#R08PR01_tokei

【調査の概要】

・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 各種農林水産統計調査結果は、関東農政局ホームページの統計情報に掲載している統計相談窓口の「農林水産統計調査結果の検索」からご覧いただけます。

関東農政局ホームページ＞統計情報

https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/

統計相談窓口＞農林水産統計調査結果の検索

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html#bunrui>

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和9年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和8年11月中旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

お 問 合 せ 先

◎本統計調査結果について

《関東農政局管内全体》

関東農政局 統計部

電 話：048-740-5921

生産流通消費統計課

《茨 城 県》関東農政局 茨城県拠点 統計担当

電 話：029-231-2266

《栃 木 県》関東農政局 栃木県拠点 統計担当

電 話：028-633-3106

《群 馬 県》関東農政局 群馬県拠点 統計担当

電 話：027-221-1173

《埼 玉 県》関東農政局 統計部 統計調査チーム

電 話：048-740-5914

《千 葉 県》関東農政局 千葉県拠点 統計担当

電 話：043-253-9212

《東 京 都》関東農政局 東京都拠点 統計担当

電 話：03-5144-5261

《神奈川県》関東農政局 神奈川県拠点 統計担当

電 話：045-211-7174

《山 梨 県》関東農政局 山梨県拠点 統計担当

電 話：055-254-6019

《長 野 県》関東農政局 長野県拠点 統計担当

電 話：026-234-5577

《静 岡 県》関東農政局 静岡県拠点 統計担当

電 話：054-246-6123

◎農林水産統計全般について

関東農政局 統計部 統計企画課

電 話：048-740-0058





2027年国際園芸博覧会 2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷



○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について

水稻生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。生産者・農業関係者ならどなたでも参加でき、皆様から共有いただいた全国各地の生育状況や被害情報などを地図上で確認できるほか、農業ニュースや気象情報も閲覧でき、日々の営農判断にもご活用いただけます。

以下のURL または右側の二次元コードから、ぜひご参加ください。

<https://minori-voice.maff.go.jp/lp/>



○水稻収穫量調査の試行調査について

一部の水稻生産者の方々を対象に水稻収穫量調査の試行調査を実施しております。

調査時期 令和8年9月、10月、11月の3回

調査方法 統計調査員による聞き取り、オンライン、郵送のいずれか

オンライン、郵送調査は農林水産省作物統計調査第2次試行調査事務局により実施します。

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。